

G. 未来へむけて(平和啓発事業)



事業名	原爆展
解 説	<p>核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、二度と核兵器を使用することのない、平和な社会づくりを訴えることを目的として、毎年夏の時期に「原爆展」を開催しています。</p> <p>主な内容として、広島平和記念資料館と第五福竜丸平和協会より借用した被爆資料や写真パネルを展示するほか、平和のメッセージコーナーには、核実験反対等の署名を募ったり、平和を祈念して作る折り鶴のコーナーや灯ろうの用紙に平和のメッセージや絵を描くコーナーを設けています。</p> <p>また、原爆展開催中、西宮市原爆被害者の会の協力により、被爆体験講話や紙芝居も実施しています。</p>



事業名	親子広島バスツアー
解 説	<p>8月5日・6日に、被爆地である広島を訪れ、平和の尊さについて親子で考えてもらう機会として親子広島バスツアーを開催しています。</p> <p>バスツアーでは、市民の皆様から預かった折り鶴や参加者が持参した折り鶴を原爆の子の像に捧げ、夜には宿泊先で被爆体験記朗読会を実施し、親子で平和・非核について学習します。また、原爆投下日の8月6日には、平和記念式典に参列し、原爆犠牲者へ追悼の祈りを捧げ、世界の恒久平和を祈念します。</p> <p>バスツアー終了後は、参加者の感想を文集として発行し、平和啓発冊子として活用しています。</p>

G. 未来へむけて(平和啓発事業)



事業名	平和灯ろう流し
解説	<p>原爆犠牲者への追悼と世界の恒久平和を祈念する平和灯ろうを川に流し、平和灯ろうの運動の輪が広がることを目的として、毎年8月の土曜日に実施しています。</p> <p>市内の小・中学生に灯ろうの絵の作成を呼びかけ、次代を担う子どもたちに平和灯ろうの意義を訴えています。</p>



事業名	終戦記念日前の駅前街頭啓発
解説	<p>終戦記念日を前に核兵器廃絶などを市民に訴えるため、駅前街頭啓発を実施しています。平和非核都市宣言を機に、昭和59年（1984年）に事業を開始しました。</p> <p>市内の主要駅前において、原水爆禁止西宮市協議会加盟団体のメンバーが平和非核都市マーク入りの啓発グッズを市民の皆様へ配布し、平和非核を訴えています。</p>

G. 未来へむけて(平和啓発事業)



事業名	平和のつどい
解説	<p>平和の大切さ、尊さを考える機会を提供するとともに平和意識の高揚を図るため、「平和のつどい」を開催しています。</p> <p>この「平和のつどい」は、原水爆禁止西宮市協議会の結成40周年を機に、平成10年(1998年)より実施しており、主に平和をテーマとした講演会等を行っています。</p> <p>平成30年度は、兄弟メッセージデュオの「ちめいど」さんをお招きし、平和コンサートを披露していただきました。</p>



事業名	平和首長会議への加盟
解説	<p>平和首長会議は、原子爆弾による悲劇が二度と繰り返されてはならないとの信念のもと、都市の連帯を通じて、核兵器のない平和な世界を実現することを目的に、広島市・長崎市の両市が中心となって昭和57年(1982年)に設立されました。</p> <p>西宮市は、「平和首長会議」の趣旨に賛同し、平成22年(2010年)8月1日に加盟しました。</p> <p>主な活動は、核兵器廃絶等に向けた世界の都市の連帯の呼びかけや「2020ビジョン」の展開、総会の開催等です。</p> <p>※ 平成25年(2013年)8月に平和市長会議から平和首長会議に名称が変更されました。</p>